

大橋可也 & ダンサーズ | 新作公演

ハードコアダンス

<http://dancehardcore.com/>

明晰さは目の前の 一点に過ぎない。

大橋可也 & ダンサーズの作品『サクリファイス』を見た後、混濁した様々な思いが残った。劇場でダンスを見ているというよりは、街頭で、路上で私自身のからだが言いがたい危機に晒されているような感覚が繰り返しここてきたのだ。大橋可也が何故このダンサー達を選び、ダンスシーンを淡々と、しかし叩きつけるように私達の前に差し出してくるのか。そこには、この日本で今見なければならないものへの切り込みがはっきりと刻まれていた。それは、ナイフのように切れ味の良いものではなく、鈍さや重さが幾つもの角度を持つ刃の毀れた斧が振り下ろされてきたような切り口だった。

「サクリファイス～犠牲」とは自ら引き受けるものなのか、強いられるものなのか、劇場をあとにしながら、思いがけず、ひたひたと寄せてくる涙に近い水の知覚に身を浸した。

今回の新作に、あの感覚が何だったのか、もう一度知るべく足を運びたいと思っている。

山田せつ子（舞踊家・京都造形芸術大学教授）

前作『サクリファイス』に題名通りに登場した、犠牲、儀式、それらは私たちを「今」「ここ」に繋ぎ止めておくための係留装置であった。

ここではない何処か、今ではない何時か、私ではない誰か、へ向けての出発が、『明晰さは目の前の一点に過ぎない。』の旅となるだろう。その旅程は断絶され、屈曲したものに違いないだろうが。—— 大橋可也

【出演者・スタッフ】

出 演：ミウミウ 堀内友香里 皆木正純
古館奈津子 神村恵 宝栄美希

振 付：大橋可也

映 像：岡崎文生（NEO VISION）

音 楽：船橋陽

照 明：遠藤清敏（ライトシップ）

舞台監督：原口佳子（office モリブデン）

音 韻：牛川紀政

衣 裳：大野典子

写 真：GO（www.go-photograph.com）

制 作：三五さやか

宣伝美術：佐藤寛之

協 力：江夏令奈 吉開菜央 田中達朗

関かおり 大橋めぐみ

【大橋可也 & ダンサーズプロフィール】

ハードコアダンスを提唱し、＜ダンスとは何か＞という問題に真摯に立ち向かうダンスカンパニー。2000年、「バニヨレ国際振付賞2000ヨコハマプラットフォーム」に登場するも、出演者が全裸であるという理由で非公開の審査となる。以降、活動を休止。2003年、活動を再開。2004年、「あなたがここにいてほしい」を発表。同作品にて「ラボ20 # 16アワード」受賞、「トヨタコレオグラフィーアワード2004ネクステージ」出場。2005年、ニューヨークの代表的なアートスペース「The Kitchen」に招聘され、初の海外公演をおこなう。2006年9月にはイタリアでの公演も予定されている。

【上演日時】

2006年8月27日（日） 15:30／19:00

[開場は開演の30分前]

【会場】

吉祥寺シアター

【料金】

前売：3000円 当日：3500円（全席自由）

【チケット取り扱い】

◆チケットぴあ 0570-02-9999（Pコード369-942）
0570-02-9988（オペレーター対応）

◆JCDN ダンスリザーブ（ダンスオンライン予約サービス）
<http://dance.jcdn.org/>

【問い合わせ】

大橋可也 & ダンサーズ
mail: dancers@dancehardcore.com
tel: 070-5218-5251

【助成】

芸術文化振興基金 
芸術文化振興基金

【主催】

大橋可也 & ダンサーズ



KICHIJOJI THEATRE

0422-22-0911 武藏野市吉祥寺本町1-33-22
吉祥寺シアター ● JR中央線・京王井の頭線吉祥寺駅北口徒歩5分